

令和7年度

学校評価



坂井市立兵庫小学校

目 次

| | |
|------------------|--------|
| スクールプラン | P 1 |
| 学校評価年間計画 | P 2 |
| 学校評価スケジュール | P 3 |
| 学校評価結果と分析 | P 4～8 |
| 学校評価アンケート用紙..... | P 9～11 |

令和7年度 兵庫小学校スクールプラン

教育目標

健康な心と体

仲間や地域と協働し、人間性豊かな兵庫っ子の育成

めざす学校像

笑顔の登校 感謝の下校

- ◎児童が笑顔で学べる学校
- ◎教師が学び続け、アップデートする学校
- ◎保護者から信頼される学校
- ◎地域の活性化に貢献できる学校

めざす児童像



兵庫っ子
ひとに やさしく
よい あいさつ
うんと がんばる
ゴールを めざす

SakAIには愛がある



| 確かな学力の育成 う うんとがんばる ご ゴールをめざす | 豊かな心の育成 ひ ひとにやさしく ご ゴールをめざす | 健やかな体の育成 う うんとがんばる ご ゴールをめざす |
|---|---|--|
| ◎できる！わかる！楽しい！授業展開 ◎情報活用能力の育成 | ◎魅力ある学校づくりの推進 ◎体験活動の充実 | ◎健康教育の充実 ◎危機管理能力の育成 |
| 具体的な取組 | 具体的な取組 | 具体的な取組 |
| ○わかる・できる授業の推進<楽しむ教育> ・ユニバーサルデザイン化 ・基礎・基本の定着 ○多様な方法で表現する力の育成 <引き出し教育> ・表現する方法と場の工夫 ・ICT 機器の有効活用 ○考える力の育成 <引き出し教育> ・情報収集・活用能力の育成 | ○魅力ある学校づくりの推進 ・受容的な学校・学級づくり ・いじめ・不登校の未然防止 ○体験活動の充実 <楽しむ教育> ・地域の人材を生かした体験活動 ・縦割り班や異学年による交流学习 ○道徳・人権・特別支援教育の推進 ・考え、議論する道徳授業 ・家庭と連携した道徳教育 ・インクルーシブ教育の充実 ・人権意識を高める指導の工夫 | ○健康教育の充実 ・健康への関心を高め、実践する指導(感染症予防、目と歯の健康) ・心と体に関する連携した個別支援 ○交通安全教育の充実 ・集団登下校の安全指導 ○防災・防犯教育の充実 ・避難訓練・防犯訓練・引渡訓練 ○体力づくりの推進 ・「らんらんタイム」の充実 |

開かれた学校づくり

よ よいあいさつ

- ◎ふるさと教育の推進
- ◎家庭・地域との連携の充実

- 地域の良さを知り、愛着を育てる ふるさと教育の推進
- 学校・学年だよりなどで学校の情報を発信する。 ○連絡メールの適切な運用
- 「各家庭でのスマートルール」に関して家庭と連携した指導実践
- 保幼小、小中の連携事業の充実

<数値目標>

| 確かな学力の育成 | 豊かな心の育成 | 健やかな体の育成 | 開かれた学校づくり |
|-----------------------------------|--|-----------------------------------|---------------------------------|
| 授業がわかると感じる児童 【90%以上】 | 学級・学校が楽しいと感じる児童 【90%以上】 | 早寝・早起き・朝ご飯を 実行できる児童 【90%以上】 | 進んであいさつができる 児童 【90%以上】 |
| ICT を活用して、伝え合うことのできる児童 【90%以上】 | 他の学年や地域の方との体験活動が楽しいと 感じる児童 【90%以上】 | 進んで体力づくりに 取り組む児童 【80%以上】 | 家で決めたスマートルールを実践できる児童 【80%以上】 |

業務改善のための取組<笑顔で児童と丁寧に向き合うための意識改革>

- データの整理・共有化による業務内容と時間の効率化
- 一斉退庁デーの推進
- 会議資料の事前配布、効率的運営
- 行事精選への保護者・地域の理解と協力依頼

令和7年度 学校評価計画

坂井市立兵庫小学校

1 学校評価のシステム

(1) スクールプラン

学校教育目標に基づき学校長が示し、前年度反省を踏まえて重点目標及び目標達成指数（肯定的回答の割合）を設定する。

(2) 学校全体の評価

スクールプランの実践について、取組、成果、満足度の視点から児童、保護者、職員に対しアンケートを行う。アンケート結果は数値化し、成果と課題、次年度への改善策・向上策を話し合い、学校評価書にまとめる。

(3) 教職員の自己目標（目標管理表）

教職員各自の目標は、スクールプラン（特に重点目標）との適合性をもち、教職員各自が強みを生かして努力することで学校目標の実現を目指す。自己評価における目標の達成状況は、学校全体の評価を参考に判断し、客観的な振り返りを行う。

(4) 学校関係者評価

保護者、地域住民の視点から、学校評価書をもとに、スクールプランの達成度や児童、教職員の資質・能力の向上について総合的に評価・検証する。

2 学校評価の組織

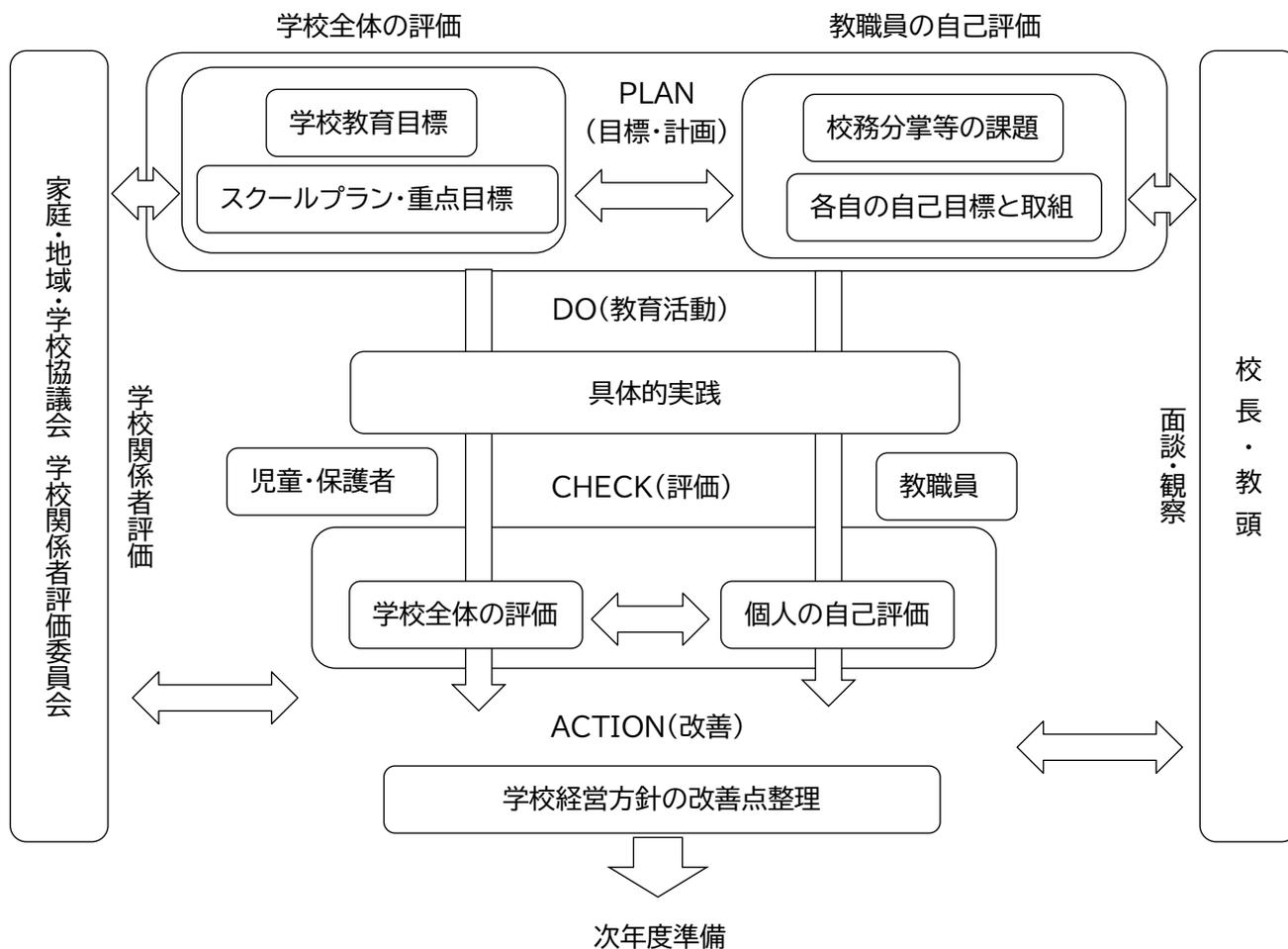
(1) 校内評価委員会

企画委員会および校務分掌各主任を核に組織する。学校評価アンケートの作成、実施、結果の分析を行い、職員会議で提示する。

(2) 学校関係者評価委員会

保護者、家庭・地域・学校協議会を核に組織する。地域住民の視点から学校経営を検証し、改善策、向上策を提案し、学校評価書に反映させる。

3 学校評価の構想図



令和7年度 学校評価年間スケジュール

| | 学校自己評価 | | 学校関係者評価 |
|--------------------------|--|---|--|
| | 教職員 | 保護者 | 家庭・地域・学校協議会 |
| 1 学 期 | <p>令和4年度の重点目標の設定 (4月)</p> <p>評価委員の依頼 (7月)</p> <p>教職員の評価実施 (7月)</p> | <p>・授業参観</p> <p>・PTA 全体会(中止の場合は学校便り)等で学校から重点目標の説明を受ける (4月)</p> <p>・運動会 (5月)</p> | <p>第1回</p> <p>家庭・地域・学校協議会</p> <p>・学校行事・授業の参観</p> <p>・学校から本年度の重点目標や取組状況の説明を受ける (7月)</p> |
| 2 学 期 | <p>学校全体の評価実施 (12月)</p> <p>保護者アンケート集計・分析・検討</p> | <p>学校公開(学校行事・授業の参観)</p> <p>・マラソン記録会 (10月)</p> <p>・学習発表会 (11月)</p> <p>保護者アンケート回答 (12月)</p> | <p>・学校行事・授業の参観</p> <p>・学校から活動取組状況の説明を受ける</p> |
| 3 学 期 | <p>学校全体の評価結果を踏まえた改善策の検討</p> <p>学校関係者評価の結果を踏まえた改善策の見直し</p> <p>学校評価の結果と改善策を報告・公開</p> | <p>学校公開(学校行事・授業の参観)</p> <p>・なわとび大会</p> <p>・授業参観 (2月)</p> | <p>第2回</p> <p>家庭・地域・学校協議会</p> <p>・学校行事・授業の参観</p> <p>・学校自己評価の結果と改善策等について評価 (2月)</p> |
| <p>次年度の目標設定や具体的取組の立案</p> | | | |

学校評価アンケート結果

<確かな学力>

| 回答者 | 質問内容 | 昨年度 | 今年度 | 目標数値 |
|-----|--|------|------|------|
| 児童 | 授業が分かる。 | 95.1 | 100 | 90 |
| 教職員 | 授業のユニバーサルデザイン化や誰一人取り残さない教育の実践に努めた。 | 100 | 100 | |
| 教職員 | 研究テーマを意識した授業実践や自分の資質向上のための研修に努めた。 | 100 | 100 | |
| 児童 | 漢字の日、計算の日のテストに向けて進んでテスト勉強に取り組めた。 | 93.9 | 90.5 | |
| 教職員 | 基礎・基本の定着のために計画的な指導と、その工夫ができた。 | 100 | 100 | |
| 保護者 | 学校は、漢字・計算など、基礎・基本の定着に取り組んでいる。 | 93.4 | 95.7 | |
| 児童 | 他の人の意見をしっかり聞いて、自分の考えをまとめることができた。 | 90.2 | 93.2 | |
| 教職員 | 互いに考えを伝え合い、自分の考えを深める学習活動の場と方法の工夫ができた。 | 100 | 90 | |
| 児童 | タブレットなどを使って調べたり作ったりしたものを他の人に伝えることができた。 | 93.9 | 96 | 90 |
| 教職員 | 授業の中でICT機器を積極的に活用できた。 | 100 | 100 | |
| 教職員 | 情報収集や活用能力、情報モラルの育成に取り組むことができた。 | 88.9 | 90 | |
| 児童 | 学級や学校の本を読んでいる。 | 68.3 | 77 | |
| 保護者 | お子さまは、家庭で宿題や自主学習に進んで取り組んでいる。 | 74.7 | 77.4 | |

○成果

・学習に対する児童の満足度は高くなっている。教職員のICT活用の意識が高まったことにより、授業の中でICTを活用していると感じる児童が増えた。また、ICTの活用が進んだことにより、児童が主体的に学び、友達と協働的に学ぼうとする姿勢が見られるようになった。

●課題

- ・復習や基礎的事項の定着に対する意識や意欲が低い。
- ・読書の習慣については、数値としては上がっているが、いまだに低い傾向。自主学習についても同様。

◇改善策・向上策

- ・来年度、自主学習ノートの取り組みを全学年で行う。また、取り組み方について研究部から提案する。
- ・朝読書の時間をしっかり確保できるようにする。国語の授業などで、学級で図書室に行き、じっくり本を選んで読書をする時間をとる。「全校読書」の時間を設ける取り組みを行う。

学校評価アンケート結果

<豊かな心の育成>

| 回答者 | 質問内容 | 昨年度 | 今年度 | 目標数値 |
|-----|--|------|-------------|-----------|
| 児童 | 学級・学校は楽しい。 | 96.3 | 98.6 | 90 |
| 児童 | 他学年の人との交流は楽しい。 | 91.5 | 94.6 | 90 |
| 児童 | 友達のよいところを見つけ、仲良くすることができた。 | 95.1 | 98.6 | |
| 教職員 | 自他の人権を尊重し、一人一人のよさを認め合う集団づくりに取り組むことができた。 | 100 | 100 | |
| 教職員 | ポジティブ教育に計画的に取り組むことができた。 | 88.8 | 90 | |
| 教職員 | 考え、議論する道徳の授業実践に努めた。 | 87.5 | 83.4 | |
| 保護者 | お子さまは、思いやりの心や善悪の判断、人権尊重など道徳性が身に付いている。 | 92 | 90.1 | |
| 児童 | 体験活動を通して、作物や植物などの育て方を学んだり、福祉について学んだりできた。 | 95.2 | 98.6 | 90 |
| 教職員 | 地域の人材を生かした体験学習に取り組むことができた。 | 100 | 100 | |
| 教職員 | 教育相談などを通し、児童の悩みや困っていることに適切に対応した。 | 90 | 100 | |
| 保護者 | 学校は、子どもの悩みや困っていることに対応している。 | 77.3 | 91.5 | |

○成果

- ・学校が、子どもの悩みに丁寧に対応できたことで、保護者は安心感を持つことができた。

●課題

- ・議論する道徳の実践がまだ不十分である。

◇改善策・向上策

- ・来年、道徳の現職教育を取り入れ、教職員の能力向上に努める。

学校評価アンケート結果

<健やかな体>

| 回答者 | 質問内容 | 昨年度 | 今年度 | 目標数値 |
|-----|--|------|------|------|
| 児童 | 早寝・早起きをして、朝ご飯を食べることができた。 | / | 90.6 | 90 |
| 保護者 | お子さまは、早寝・早起きをして、朝ご飯を食べている。 | / | 87.3 | / |
| 児童 | 交通ルールを守って、安全に集団登校・下校ができた。 | 95.1 | 98.6 | / |
| 教職員 | 集団登下校の交通安全指導ができた。 | 100 | 100 | / |
| 児童 | 地しんや火災・水難・不審者のひなん訓練で命を守る方法を理解することができた。 | 96.3 | 100 | / |
| 教職員 | 防災・防犯訓練などを通して自ら命を守る力の育成ができた。 | 90 | 100 | / |
| 保護者 | 学校は、地震・火災・水難・不審者などの避難訓練に取り組んでいる。 | 93.4 | 98.6 | / |
| 児童 | 「らんらんタイム」の体力づくりでは最後までがんばることができた。 | 95.1 | 97.3 | 80 |
| 教職員 | 業間に行われた体力づくりでは児童の活動を支援できた。 | 100 | 100 | / |

○成果

- ・どの項目も数値が高くなっている。特に、集団登校・下校の項目が数値が高くなっている。

●課題

- ・防災について、保護者だけ値が低い。
- ・「らんらんタイム」の時間がなかなか確保できなかったこともあり、児童ががんばったという達成感を得る機会が少なくなっていたのかもしれない。

◇改善策・向上策

- ・防災について、避難訓練等があった場合は内容などを引き続き周知していくことが必要。
- ・「らんらんタイム」を確保するのが難しくなってきたので、例えばマラソン大会の期間中は全学年の体育の時間で代わりとなる体力づくりのための時間を設定するなど柔軟に授業で取り入れる。やり方については、全校で統一すると次年度も継続して行うことができるのではないか。

学校評価アンケート結果

<開かれた学校づくり>

| 回答者 | 質問内容 | 昨年度 | 今年度 | 目標数値 |
|-----|---|------|------|------|
| 児童 | あいさつができた。 | 97.6 | 96 | 90 |
| 教職員 | あいさつの指導ができた。 | 90 | 100 | / |
| 保護者 | 兵庫小学校の児童は、地域の方へのあいさつができています。 | 81.3 | 91.6 | |
| 児童 | スマートルール（おうちの人と決めた約束）を守ることができた。 | 87.8 | 91.9 | 80 |
| 教職員 | スマートルールの取り組みについて定期的に指導できた。 | 87.5 | 85.7 | / |
| 保護者 | お子さまは、スマートルール（各家庭で話し合ったインターネット利用などの約束）を守っている。 | 62.7 | 66.2 | |
| 教職員 | Home & School によるおたより配信などで情報発信ができた。 | 100 | 100 | / |

○成果

- ・あいさつに関しては、教職員のあいさつ指導に対する意識が高まったからか、保護者の評価が昨年度に比べ大きく上回った。
- ・スマートルールについても、児童、保護者ともに守れたとの回答が昨年度より多かった。

●課題

- ・スマートルールに関しては、児童、保護者の評価が高くなったが、教職員の評価は昨年度よりやや低下した。

◇改善策・向上策

- ・あいさつをよりよくする取り組みについては、日頃からの継続的な指導が今後も重要である。「笑顔であいさつする」「相手の目を見てあいさつする」などの具体的目標を掲げての指導も引き続き行っていく必要がある。
- ・スマートルールの取り組みに関しては、保護者・関係外部機関等と連携しながら、強化週間だけでなく日常的に取り組んでいく必要がある。

◇保護者の方、家庭・地域・学校協議会の方のご意見・ご要望を受けて

本校の教育活動に対する貴重なご意見ありがとうございました。

いただきましたご意見をもとに、学習指導、生活指導、学校行事等におきまして、今後改善、検討を行っていきたいと思います。保護者のみなさま、家庭・地域・学校協議会のみなさまには、引き続きご理解・ご協力をくださいますようお願いいたします。

学校生活を振り返って<児童用>

学年 _____ 年 _____

*学校生活を振り返って、下のA～Dから当てはまるものを選んで記号に○を書いてください。

- A … よく分かる、よくできた、とても楽しい
- B … だいたい分かる、だいたいできた、まあまあ楽しい
- C … あまり分からない、あまりできなかった、あまり楽しくない
- D … ほとんど分からない、ほとんどできなかった、ぜんぜん楽しくない

- 1 授業が分かる。 [A B C D]
- 2 漢字の日、計算の日のテストに向けて進んでテスト勉強に取り組むことができた。
[A B C D]
- 3 他の人の意見をしっかり聞いて、自分の考えをまとめることができた。
[A B C D]
- 4 タブレットなどを使って調べたり作ったりしたものを他の人に伝えることができた。
[A B C D]
- 5 学級や学校の本を読んでいる。 [A B C D]
- 6 学級・学校は楽しい。 [A B C D]
- 7 他学年の人との交流は楽しい。 [A B C D]
- 8 友達のよいところを見つけ、仲良くすることができた。 [A B C D]
- 9 体験活動を通して、作物や植物などの育て方を学んだり、福祉について学んだりすることができた。
[A B C D]
- 10 早寝・早起きをして、朝ご飯を食べることができた。 [A B C D]
- 11 交通ルールを守って、安全に集団登校・下校ができた。 [A B C D]
- 12 地しんや火災・水難・不審者のひなん訓練で命を守る方法を理解することができた。
[A B C D]
- 13 「らんらんタイム」の体力づくりでは最後までがんばることができた。
[A B C D]
- 14 あいさつができた。 [A B C D]
- 15 スマートルール（おうちの人と決めた約束）を守ることができた。
[A B C D]

学校評価アンケート＜教職員用＞

| | |
|--------------|-------------|
| A：よく当てはまる | B：だいたい当てはまる |
| C：あまり当てはまらない | D：全く当てはまらない |

- 1 授業のユニバーサルデザイン化や誰一人取り残さない教育の実践に努めた。
- 2 基礎・基本の定着のために計画的な指導と、その工夫ができた。
- 3 研究テーマを意識した授業実践や資質向上のための研修に努めた。
- 4 互いに考えを伝え合い、自分の考えを深める学習活動の場と方法の工夫ができた。
- 5 授業の中でICT機器を積極的に活用できた。
- 6 情報収集や活用能力、情報モラルの育成に取り組むことができた。
- 7 自他の人権を尊重し、一人一人のよさを認め合う集団づくりに取り組むことができた。
- 8 ポジティブ教育に計画的に取り組むことができた。
- 9 考え、議論する道徳の授業実践に努めた。
- 10 地域の人材を生かした体験学習に取り組むことができた。
- 11 教育相談などを通し、児童の悩みや困っていることに適切に対応した。
- 12 集団登下校の交通安全指導ができた。
- 13 防災・防犯訓練などを通して自ら命を守る力の育成ができた。
- 14 業間に行われた体力づくりでは児童の活動を支援できた。
- 15 あいさつの指導ができた。
- 16 Home & School によるおたより配信などで情報発信ができた。
- 17 スマートルールの取り組みについて定期的に指導できた。

<自由記述>

- ① 教育課程について（年間計画、授業数、生活時間表など）
- ② 校務分掌について
- ③ 研究について
- ④ 生徒指導について
- ⑤ 保健指導について
- ⑥ 管理・渉外について

学校評価アンケート＜保護者用＞ お子さまの学年 _____ 年

お子さまの名前 _____

*質問に対して当てはまるものをA～Dの中から1つ選んで○を付けてください。

| | |
|--------------|-------------|
| A：よく当てはまる | B：だいたい当てはまる |
| C：あまり当てはまらない | D：全く当てはまらない |

- 1 お子さまは、家庭で宿題や自主学習に取り組んでいる。
[A B C D]
- 2 学校は、漢字・計算など、基礎・基本の定着に取り組んでいる。
[A B C D]
- 3 お子さまは、思いやりの心や善悪の判断、人権尊重など道徳性が身に付いている。
[A B C D]
- 4 学校は、子どもの悩みや困っていることに対応している。
[A B C D]
- 5 お子さまは、早寝・早起きをして、朝ご飯を食べている。
[A B C D]
- 6 学校は、地震・火災・水難・不審者などの避難訓練に取り組んでいる。
[A B C D]
- 7 兵庫小学校の児童は、地域の方へのあいさつができています。
[A B C D]
- 8 お子さまは、スマートルール（各家庭で話し合ったインターネット利用などの約束）を守っている。
[A B C D]

| |
|------------------------------|
| 学校へのご要望・ご意見などがありましたらお書きください。 |
|------------------------------|